



コハクチョウ（3羽）の初飛来が10月6日に確認されました。すでに3日に飛来情報があり、平年（9日飛来）より6日早く、昨年（11日飛来）より8日早い飛来でした。

Vol.137

令和3年度11月号

## 水生植物園に新たな観察路が出来ました



新たな観察路でお楽しみ下さい。



木道は長年の風雨で危険な状態でした。

水生植物園の木道の一部を撤去し、新たに観察路を整備しました。古い木道は、永年の風雨にさらされて材木の劣化が進み、危険な状態になっていました。

是非、新たに設置した歩道を歩いて、水生植物園を楽しんでみて下さい。



## 第1回自然体験講座「伊豆沼漁師体験」実施

10月3日に「伊豆沼漁師体験」が行われました。当日は天候にも恵まれ、タモ網で捕獲したヒメミズカマキリなどの珍しい水生昆虫を観察することができたほか、定置網や刺し網を用いた漁など、普段なかなか体験できない漁師の仕事を楽しくいただきました。

また、刺し網にかかった大きなコイやフナにおっかなびっくり触る子供達の姿も印象的でした。

今回の体験講座を通して生き物に興味を持っていただければ幸いです。



タモ網で魚すくい



刺し網漁を体験



定置網にどんな魚が入ってる？



昼食風景



# トヨタ東日本(株)と仙台二華高による環境保全活動

## トヨタ東日本(株)の皆さん



## 仙台二華高の皆さん



9月25日・10月2日、9日に、トヨタ東日本(株)の社員のみなさんに伊豆沼生態系水質環境保全維持活動の一環として、木板柵作成を支援して頂きました。

1週目は、防腐剤塗布、2, 3週目は組立て作業と3日間で延べ47名が参加。社員の皆さんは、わきあいとチームワーク良く作業を行い、予定した140パーツを見事完成させていただきました。

10月1日には、仙台二華高等学校の生徒105名が環境保全学習(北上フィールドワーク)の一環として伊豆沼を訪れました。実習内容は、外来魚などの仕分けと遊歩道の草刈り、水路整備を3グループ交代で行なうというもの。当日は、あいにくの雨の中でしたが、時折、笑いがこぼれるなど和やかに作業が進められました。

## 高校の実習助手の先生向け実習講座を行いました

サンクチュアリセンターでは、沼の生きものを題材にさまざまな実習プログラムを実施しています。

先日、高校の実習助手の先生向けに雨天時の実習プログラム「魚類の分類と解剖実習」を行いました。魚種によって、外部形態や消化管の構造は異なります。今回は、魚類分類図鑑を参考に、魚類の正確な分類方法や、消化管の構造などを観察しました。普段見たことのない魚類の違いに参加された先生方からは驚きの声も聞かれました。

機会があれば、子どもたち向けの講座も実施してみたいと考えています。



魚類を解剖する先生方と見守る研究員

## 「カモ学講座」発刊のお知らせ



このたび、当財団の嶋田研究室長が執筆した「知って楽しいカモ学講座」が緑書房より出版されました。伊豆沼・内沼を中心とした水域をモデルとして、これまで30年以上行ってきたガンカモ類の研究をベースに、その生態や保全についてカモ学として体系的にまとめ、一般読者向けに解説したものです。バス・バスターズによるオオクチバス駆除など伊豆沼の自然再生事業にも触れています。書店やネットなどでお求めいただけます。また、「アマゾン 本」→「カモ学講座」で検索すると書誌情報が出てきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

